



— 技術者を主役にするプロジェクト —

第2回製造業対抗ミニ四駆大会 大阪工業大学カップ

🎵 2026年5月23日（土） | 📍 大阪工業大学 梅田キャンパス

主催：大阪工業大学 運営：ザ・クラフターズ

[プロジェクトに参画する →](#)

WHY WE DO THIS

製造業の技術を魅せる。 技術者を魅せる。 未来を魅せる大会。

製造業の技術は、人々の暮らしや社会を支える非常に重要な存在です。

しかし、その高度な技術や、現場で働く人々の情熱は、製品の裏側に隠れてしまい、社会に十分に伝わっていない現状があります。

「技術者が主役となり、輝く場所をつくりたい」
「子どもや学生たちが、ものづくりに憧れるきっかけをつくりたい」

そんな思いから、企業と学生が本気で競い合い、技術のすごさと面白さを体感できる場として、この大会を開催しています。

[プロジェクトの背景を読む →](#)



CURRENT CHALLENGES

いま、製造業には "伝わりにくさ"と"つながりにくさ"があ る。



技術の価値が社会に十分伝わっていない

優れた技術を持ちながら、その価値や魅力が一般社会や次世代に十分に伝わっていない現状があります。



若手人材が製造業に興味を持ちにくい

学生が企業のリアルな現場や技術者の熱意に触れる機会が限られ、職業選択の土俵に上がりにくい課題があります。



企業にとって販路開拓や人材確保の機会が限られている

既存の商流や採用ルートだけでは、新しい市場や優秀な人材との接点をつくるのが難しくなっています。



企業同士のつながりや連携の機会が少ない

日常業務の中では、企業間の横のつながりや、学生との共創的な接点生まれにくい構造的な課題があります。

[この大会が果たす役割を見る →](#)



競技を超えて、製造業の魅力をひらく場へ。

本大会は、単なる競技ではなく、



技術者が主役になる場

日頃、裏方になりがちな技術者が
その腕と知恵を存分に発揮し、
称賛されるステージを提供します。
「すごい」が可視化される瞬間を。



学生と企業が出会う場

同じフィールドで競い合うことで、
企業説明会では伝わらない
熱量や姿勢を肌で感じる。
本気の共創が生まれる接点です。



製造業の技術、モノづくりの面白さを発信する場

レースというわかりやすい形式で、
ものづくりの面白さと奥深さを
社会へ広く届けていく。
業界全体のイメージ向上へ。

FEATURES

遊びの中に、 本気の技術と未来がある。



学生と企業が同じフィールドで本気で競う

年齢や立場の垣根を超え、純粹に技術とアイデアで勝負するフラットな環境があります。



技術・アイデア・工夫が評価される

単純なスピード競争ではなく、マシンの工夫やコース攻略の戦略性など、ものづくりの総合力を競います。



観る人にも「モノづくりの面白さ」が伝わる

レースという分かりやすい形式を通じて、専門外の人にも技術の魅力や熱量が伝わる場となります。

走るだけではなく、技術そのものが見える大会。

遊びの中に、本気の技術と未来があります。

[共創の具体像を見る →](#)



EXPANDING PROJECT

単発のイベントではなく、 広がり続けるプロジェクトへ。

本大会は、単なる一日のイベントにとどまらず、
さまざまな分野のプロフェッショナルや企業の共感を得て、
プロジェクトとして広がりを見せています。

大規模イベントを手がけてきた関係者や、
メディア・コンテンツ制作に関わるメンバーなど、
多様な視点を持つ人たちが参画し始めています。

この取り組みは、
日本の製造業を代表する一大イベントへと発展させていく構想のもと、
動き始めています。

すでに、この取り組みに共感する企業や関係者が増え始めています。

今後の展開を見る →



RECRUITMENT VALUE

実際に動く学生と 出会える場。

本大会は、企業と学生が出会う場でもあります。

モノづくりに興味を持つ学生が参加し、企業と同じフィールドで挑戦することで、

- ・企業の姿勢
- ・技術への考え方
- ・現場のリアル

を直接感じる機会となっています。

実際に動く学生と出会える場として、
採用活動の新しい接点にもなっています。

参画を相談する →



FUTURE VISION

日本の製造業の 未来へ。

本大会は継続的に展開しながら、

- ✓ 全国の企業・学生の参加拡大
- ✓ 技術・取り組みの発信強化
- ✓ 企業同士・学生とのつながり創出

を進めていきます。

日本の製造業の技術と
モノづくりの面白さを、
届け続けるプロジェクトへ。

パートナーとして関わる →



OUR PHILOSOPHY

協賛は、広告ではありません。

本プロジェクトにおける協賛は、単なるロゴ掲載や露出のための広告ではありません。

技術者が評価される社会をつくること。

学生が製造業に憧れるきっかけをつくること。

企業同士が新しいつながりを持つこと。

その流れを、共に育てていくための取り組みです。

協賛メニュー：コース開発パートナー

限定3社

技術を“仕掛ける側”として
参画する最上位プラン

0円

(技術・ノウハウによる現物協賛)

技術を“見せる”だけでなく、
“体験させる”立場へ。

※貴社の技術力とアイデアを
コース制作に投入していただくことが
最大の協賛となります。

詳細を相談する →

参画内容

- ✓ 学生とチームを組み、コースを企画・制作
- ✓ 自社技術をコースに組み込み
- ✓ 大会当日に“迎え撃つ側”として参加

発信・掲載

- ✓ コース内ロゴ・技術表現
- ✓ 大会内メイン紹介 (3~5分)
- ✓ WEB掲載 (優先)
- ✓ マガジン特集掲載 (1回) ※4000社配信
- ✓ SNS発信 (2回以上)
- ✓ 大会レポート掲載
- ✓ バックパネル ロゴ掲載 (大)

交流・継続価値

- ✓ 学生・企業との交流機会
- ✓ 大会後レポート共有

協賛メニュー：その他プラン

プラン名	金額（税込）	主な特典・発信内容
コース開発パートナー 限定3社 / 現物協賛	0円	コース制作参画、優先試走、大会内紹介、マガジン掲載、WEB掲載（大）、交流会招待 ※技術・ノウハウの提供によるパートナーシップ
パートナー協賛	300,000円	大会内企業紹介、マガジン・SNS・WEB掲載（大）、バックパネル掲載、交流会招待
サポート協賛	100,000円	マガジン掲載、SNS紹介、ロゴ掲載（中）、WEB掲載、大会映像掲載
コース協賛	50,000円	学生のコース開発支援、コース内ロゴ掲載、バナー掲出、WEB掲載
応援協賛	30,000円	ロゴ掲載（小）、WEB掲載
ライト掲載	20,000円	マガジン掲載、WEB掲載

※マガジン掲載は、協賛金額に応じて掲載サイズが異なります。

COMMUNICATION

単なる掲載ではなく、 企業の価値を伝えることを 重視しています。

発信の接点は、ひとつではありません。

- マガジン（4000社配信）
- SNS
- 大会
- WEB

複数の接点を通じて、企業の技術や姿勢、
モノづくりへの向き合い方が伝わる設計を
目指しています。

※マガジン掲載は、協賛金額に応じて掲載サイズが異なります。

[発信内容を相談する →](#)



マガジン（4000社配信）

製造業関係者を中心に配信。
深掘りした記事で技術の価値を伝えま
す。
※掲載サイズはプランによります。



SNS

制作過程からリアルタイムで発信。
学生や若手層へのリーチを強化し、
共感の輪を広げます。



大会当日

会場でのロゴ掲出やアナウンス。
来場者や参加学生に対して、
直接的なブランド露出を図ります。



WEB

公式LPへの社名・リンク掲載。
イベント終了後もアーカイブとして残
り、
継続的な接点となります。

USE OF FUNDS

協賛金は、 未来のモノづくりの場を 育てるために活用しま す。

本大会を一度きりで終わらせず、
技術者と学生が出会い続ける場を
育てるために活用します。

[プロジェクトに参画する →](#)



大会運営

会場設営、機材手配、安全管理など。
参加者が安心して技術を発揮できる
環境を整えます。



学生のコース制作など の研究開発

学生チームの製作費補助や活動支
援。
金銭的なハードルを下げ、
多くの学生の挑戦を後押しします。



発信強化

WEBサイト制作、SNS運用、広報活
動。
製造業の魅力と本プロジェクトの価
値を
社会へ広く届けます。



次回開催基盤

継続的な開催に向けた組織づくりや
ノウハウの蓄積。
一過性で終わらせない仕組みをつく
ります。

CLOSING MESSAGE

この流れを、さらに大きく。

この大会は、単なる競技ではありません。

技術者が本気で挑戦し、企業と学生がつながり、
製造業の技術、モノづくりの面白さを社会に届けていく取り組みです。

いま、この想いに共感し、共に動き始めている仲間が増えています。

ぜひ、このプロジェクトにご参画ください。

✉ 協賛について問い合わせる

参画相談をする →